

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	すてっぴ農業資金融資事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	4	21	1	20,000
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		いいだすてっぴ農業資金運営要綱 「すてっぴ農業資金」に関する基本協定書				
		事業期間	3	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内農業者	農家人口(人) H12センサス	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			24689	24600		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	新たな経営チャレンジをしてもらう	融資件数:件	18目標	6	最終目標	
			18実績	5	19目標	6
		23目標	10	23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	簡易な施設整備や機械導入などに必要な資金を斡旋し、農業をもう一步ステップアップしてもらう。特に第2種兼業農家や女性・高齢者などで公庫の制度資金が利用できない農業者に、自分名義で借りられる低利で柔軟な資金を利用してもらう。そのことによって、農業意欲を高めてもらい、地域農業の振興に寄与してもらう。貸付限度:個人200万円・団体300万円 融資利率:農業近代化資金と同率(17年4月現在1.6%) 返済期間:5年以内 年度当初に「みなみ信州農協」へ拠出金を預託する。(2000万円) 年度末に「みなみ信州農協」から拠出金が返還される。	個人の申し出の書類が、農協から提出される。内容を協議し、問題がなければ、融資の実行を農協に伝え、融資を実行する。機械・施設等の更新における利用が多い。	融資斡旋件数 単位(件)	5
	18年度の実績	同上	融資斡旋件数 単位(件)	10
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	20,000	20,000
	事業費計(A)	20,000	20,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 20	19年度 20
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	72	72
	トータルコストA+B	20,072	20,072

特定財源内訳や補足事項  
みなみ信州農協との協定書に基づき、年度当初に原資を拠出するが、年度末には拠出金が返還される。

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>一般の農業制度資金は、中核的・大規模農業経営者を対象としており、小規模の農業者や兼業農家などは農業制度資金を使いにくい状況であった。地域農業の担い手である兼業農家、高齢農業者、女性農業者から、低利で手軽に利用できる農業資金が求められ、それらに応えるために創設した。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>地域農業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、また、農業者の兼業化・高齢化は更に進んでいる。当資金に対する期待は今後も大きいと考えられる。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>臨機応変に対応できる当制度は農業者の間で好評である。(農協技術員・農業者からの声)</p>
---	---	---

**【See】18年度の振り返り**

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>手軽に利用できる農業制度資金を用意することで、小規模農家や兼業農家でも農業の近代化(ステップアップ)が可能となり、農業振興に繋がる。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>制度をPRして利用を促し、成果を向上させる余地はある。ただし、むやみに債務を増やすことは農業経営の圧迫になる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>農家を対象としており、対象を見直す必要はない。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>大規模な農業制度資金を利用できない農家は資金調達が難しくなる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>融資制度の充実が、地域農業の振興に結びつくため、意図の見直しは必要ない。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>農業制度資金は他にもあるが、小規模で使いやすい農業資金は他にないため、統合は不可能。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>小回りの利く農業制度資金が民間や国県にないため、市が関わる必要がある。</p>		<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>融資の実行は農協が行う事業費は、年度毎に預託と返還を繰り返しており、事業費が積み重なっていく事業ではない。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>農家が受益者であるが、公庫並みの利息を負担するので、妥当である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span></p> <p style="color: green; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">具 体 化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>広く制度をPRする。 定期的な農協と協議し制度の見直しをする。</p>
---	--

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	